

雜 錄

●鐵鋼自給策建議 八會議所提出

東京商業會議所にては曩に開會せし大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、長崎、函館、東京等八會議所聯合協議會に於て調査決議せる鐵鋼自給の根本政策並に刻下の應急策に關し四月二十八日會議所會頭の名義にて左の建議案を内閣總理大臣及大藏、農商務兩大臣に提出せり。

建 議 案

鐵鋼自給に關する根本政策の確立は國防上及び産業上一日も忽諸に付すへからざる重要問題にして夙に斯業の發達せる歐米諸國に於ても這次世界大戰亂の經驗に鑑み各國相競ふて戰後に於ける製鐵事業の發達に苦心計畫を怠らず、然るに我國に於ては未だ是に關して何等一定の政策の確立せられたるものあるを見ず國家の爲め頗る深憂に堪へざる所なり、加ふるに我製鐵業は創製以來日尙ほ淺く未だ其基礎確立せざるに當りて突如として時局の影響を受け是か爲めに被れる打撃實に想像の外にあり、若し此儘に放任せんか其大多數は終に破滅の運命に陥るを免れず延て一般經濟界に悪影響を及ぼすこと尠少ならざるへし、政府當局希くは現下の情勢に鑑み速に製鐵調査會を組織し是か根本政策並に刻下の應急策に關する調査に従事し適切なる施設に出

てられんとを。

●鑄ぬ鋼鐵の發明 如何なる状態にあつても大氣水

又は多少の酸類を含む液の爲め腐蝕されぬ鋼鐵が歐洲戰爭開始間際英國シエフィールドの冶金學者ハリ、ブリアリ氏に依つて發明された。是れ飛行機、飛行船の一部分及び其他種々の武器船舶等の製造上非常に重要なる發明なるを以て歐洲戰爭開始以來英國政府は其特許權を獨占し、鑄ぬ鋼鐵に關することが一切秘密にされた故に、戰時中この鋼鐵が軍事上種々の目的に使用され、効果あつたに拘らず、世間に知れなかつた。併し休戰以來多くの事に關する英國政府の嚴格なる取締か撤廢さるゝに及び、鑄ぬ鋼鐵も漸く世間に知らるゝやうになつた。近頃シエフィールドに於て之を以て種々の刃物が製造され實地に使用して非常に結果が好い。何んとなれば鑄ぬ鋼鐵は大氣、水又は多少の酸類を含む液に侵されぬ特長ある上に鋼鐵として充分の強度と持久力を有つて居るからである。ハリ、ブリアリ氏が鑄ぬ鋼鐵を發明したのは全く偶然のことで、氏は砲身内部の腐蝕を豫防する方法を研究中某軍器製造に於て或種のクローム鋼鐵が他の鋼鐵なれば酸化すべき狀況に在るにも拘らず、酸化せざることに氣付き遂に鑄ぬ鋼鐵發明に成功したので別に大した研究の結果ではなかつたのと氏自ら言つて居る。

●水道鐵管の需用 戰前内地に於ける各都市の水道

工所用鐵材の需要は非常の巨額に上れるか、開戦後の鐵材市價暴騰に一大打撃を蒙り急施上止むを得ざる一部に於て木管を代用せる外、新設擴張共殆んど此等工事の大部分は中絶され居たるか、休戦後鐵材市價の暴落せる爲め年度換はりを機とし、昨今前記一時中止せる各都市の水道工事に起工續出するに至り、最近既に決定せるものは鹿兒島市の五百噸、福岡市の一萬噸、仙臺市の五千噸、海外にては滿鐵の二千噸、上海の五百噸、青島の五百噸あり。其他目下東京及び阪神間の各工場に對し、引合中のもの尠からざるを以て需要多額に上るべく、其他戦後中止中なりし各種工事の復活に連れて漸次銑鐵の需要を喚起すべく、銑鐵を首め一般鐵材市場は頃來好況に向ひつゝあり、現在百二十圓の銑鐵市價より採算せは鐵管一噸は約二百圓見當なるか、之れを戦前の七十圓に比すれば尙三倍の高値にあり。

●鞍山製鐵所火入式 滿鐵か一昨年夏工事に着手して以來既に二千餘萬圓の巨資を投して只管工事の進捗を圖り居たる鞍山製鐵所は、今回熔鑛爐一基の完成を見四月二十八日午後五時火入式を行へり。

●平壤製鐵開始 平壤の對岸に設立せられたる平壤製鐵所は今回工事を終り、十噸の熔鑛爐二基を据付け五月二十七日火入式を舉行する筈なり。

●東洋製鐵火入式 昨年來工事中の東洋製鐵會社に

ては五月十日午後九時を期し初めて第四百五十七噸熔鑛爐の火入式を行へり、先づ出銑口に祭壇を築き、神官の供饌奠供修祓式あり、續いて西下中の社長中島男並に西野專務か紅白燃の綱に火を點すれば熔鑛爐は初めて活動を開始、式は十時頃終了せるか之れに依りて民間隨一の稱ある四千萬圓の大製鐵會社は愈々建設時代より創業時代に移りたる譯にて本年中には三百噸の熔鑛爐も竣成すべく既に基礎工事を終へ残り二基の高爐も準備に取掛り居れり。

●米國製鐵業觀

中原津氏の視察談

米國製鐵事業は過半ユー、エス、スチール會社の工場に屬して且分業的に組織せられて軌條、薄板、アングル等専門に製造されて居る、昨年中の製産額は四千八百萬噸で戦前に比して一千餘萬噸の増額であるが、之は軍需品の激増が重なる原因である、全體米國では製品は自給の目的で輸出は第二の問題であるが、休戦以來需用供給が一致せず、現に市俄古附近の薄板工場にては作業休止中のものもある。罐詰類の食料品製造の減ぜし結果は鐵力製造工場の製産減額と云ふ状態も見聞したが、鐵價は依然下落しない、尤も戰時中に政府が價格を一定して居るので民間で勝手に左右する譯にも行かぬが、米國では講和成立の曉、歐洲各國が戰亂後の恢復に要する鐵材の供給は獨り米國のみと云ふので使

用して居る、元來同工場では平爐の燃料にナチュラル瓦斯を使用して居るも、冬期は一般瓦斯の使用者多く供給不足

の爲め瓦斯と石炭粉末とを交互に使用し居るも故障多しと云ふ。一九一七年頃迄は鐵業に電氣應用と云ふことは極めて少くエンジン萬能でモーターを使用して居るのは米國に一臺と加奈陀に一臺であつたが、本年二月にはウエスチングハウス會社にて製造した丈けども既に三十臺に達して居る。八幡製鐵所でも第三期擴張工事の附帶として海岸收用地に建設せらるゝ分解工場には此の電氣モーターを据ゑ付くる計畫である云々。

●米國製鐵原價

最近米國よりの情報に依れば今回米國鐵價調節案に關し主なる製鐵業者は政府委員に對し齎したる鐵材生産費は千九百十四年の噸當り平均勞銀八弗三十仙に對し千九百十八年に至り一躍二十三弗二十仙に騰貴し、四ヶ年間に於て勞銀のみにて既に噸當り十四弗九十仙の騰貴を示せり、而して千九百十八年後半期に於て三回の引上を見たる爲め一人一箇年の賃銀千九百弗とせば噸當り二十七弗三十仙となれるを以て之れを標準とせば鐵材の全原價は四十弗乃至五十弗を算定さるゝも政府は民間の需要者を擁護する爲め製鐵業者の要求は全部認定せざる模様なりと、而して米國に於ける一人一箇年の賃銀昂騰率を示せば左の如し。

千九百十五年 七七一弗、 千九百十六年 九七七弗
千九百十七年 一、二二一弗、 千九百十八年 一、六一九弗

●米鐵價格協定

米國商務省内に新設せられたる産

業局に於て三月十九日より同二十一日に亘りジャツヂ・キヤリー氏以下全國製鐵業者代表者を集め本年内に取引せらるべき鐵類の取引價格を協定せる結果其協定價格は現今行はれつゝある價格より一割四分の低下を示し、又戰時中政府の決定せる最高價格に比し一割三分乃至二割二分の低下を示せり。尙休戰以來同國に於ては一時鐵類取引中止の姿なりしか、今回協定價格決定と共に紐育市場に於ける製鐵會社諸株は何れも強味を呈するに至り、政府民間とも前途を樂觀するに至れり。

●木材乾餾事業の保護

日本林産製鐵專務松島誠、山陽製鐵社長石橋爲之助兩氏は政府に對して木材乾餾製品保護獎勵に關する建議案を提出すべく目下關係者に對して運動中の由なるか、右の理由は本邦乾餾事業は戰時外國品の輸入杜絶に因りて發達し來り漸く自立經營の基礎かたまらんとする今日に於て平和克復の爲め外國品の輸入増加となり同事業の蒙る影響尠からず、依つて政府に於て外國より輸入する醋酸石灰及木精の輸入稅率を一般に付現在より十圓方引上る事及本事業を營む者に對して製鐵獎勵法の如く所得稅及營業稅を免除する事及本事業保護法を得くる事に關し保護政策を施さん事を希望するものにして當局にて目下該事業の發達を圖りつゝある今日なれば之か保護政策としては前記の要求は全部容れられざるべきも出來得る範圍内に於ての保護は與ふへしと當局は語れり。